

# ***TPM-7* 取扱説明書**

# 安全にお使いいただくために

	<b>重要</b>
---	-----------

本製品をより効率的にお使いいただくために、取扱説明書の内容についてよくご理解してください。この取扱説明書は、本製品の基本操作を説明するもので、故障を修理する方法を記載したものではありません。本製品は診断テストや車両故障のおおよその箇所の発見に使用するためのもので、車両の診断を行う際に使用者は、サービス（保守整備）マニュアルと最新の保守整備用公示資料も参照していただくようお願いいたします。修理に関しては、製造元車両サービスマニュアルまたは他の故障修理の出版物でお確かめ下さい。※本書では、サービス（保守整備）マニュアルと保守整備用資料や故障修理に関する情報を総じて、整備書として表記いたします。

	<b>注意</b>
---	-----------

本製品を十分に活用していただくためには、車両コンピュータコントロールシステムを熟知されている必要があります。本製品を使用する際に整備書を参照せず、無理な使い方や車両を破損させた場合、本製品の正しい使用方法以外で発生した損害については、一切の責任を負いかねます。人的な傷害を未然に防ぐために、必ずパーキング・ブレーキを確実にかけ、車輪止めを行い車両の点検・修理を行ってください。車庫などの周囲が囲まれている空間でエンジンを作動させたまま点検を行う際には、必ず十分な換気を行ってください。排気ガス中には意識不明状態や死亡に至る恐れのある無色無臭で非常に危険な一酸化炭素が含まれておりますので、排気ガスは絶対に吸い込まないようにしてください。診断ケーブルを車両に接続するときは、車両のイグニッションスイッチが OFF の位置にあることを必ず確認してください。イグニッションスイッチが ON の位置で接続すると、本体やプログラムを破壊する場合があります。車両の診断コネクタにケーブルがしっかりと接続されていることを確かめてから、本製品をお使いください。運転者は、運転中に本製品を操作しないでください。電源電圧は DC10V 以上 32V 以下でお使いください。

	<b>禁止事項</b>
---	-------------

濡れた手で、本製品にふれないでください。本体およびケーブル等を水に濡らしたり、衝撃等を与えないでください。

本体およびケーブル、アダプタ等の金属端子部に直接手を触れないでください。汚れによる接触不良や静電気による破壊等が発生する場合があります。車種によってサービスデータが有効ではない場合は車両システムの変更による可能性があります。本製品を分解・改造しないでください。本体のコネクタ部に異物を入れないでください。本製品を直射日光が当たる場所や高温になる場所または、炎天下の車室内に放置しないでください。本製品に別の製品のケーブルを使用しないでください。

	<b>アドバイス</b>
---	--------------

本製品を使用し、何度診断を試みても診断ができない場合は、診断コネクタの接触不良および断線等が考えられますのでご確認ください。また、サポートされていない車両の可能性もあります。車両側の故障診断機能の対応によってはデータ表示の内容が正しくない場合があります。

# 目次

1. 梱包品の確認 .....	4
2. 各部名称 .....	4
3. 初期設定と ID の確認 .....	6
接続と起動 .....	6
機能説明 .....	6
設定画面の起動 .....	7
言語の設定 .....	7
コントラストの設定 .....	7
メーカーの自動選択 .....	7
操作音量 .....	7
ボタン音 .....	7
時計 .....	7
本体 ID .....	8
4. ユーザー登録 .....	9
5. アップデート .....	11
6. 車両登録 .....	12
新規登録 .....	12
登録済車両選択 .....	13
登録済車両削除 .....	14
7. 診断 .....	16
故障コードの読取 .....	16
故障コードの消去 .....	18
データモニタ .....	19
データ保存 .....	20
結果を印刷する .....	21
DTC ヘルプ機能 .....	22
カスタマイズ .....	23
作業サポート .....	24
アクティブテスト .....	25
8. 特殊機能 .....	26
DPF (例：日野・プロフィア) .....	26
エーミング (例：トヨタ・プリウス) .....	27
簡易バッテリーテスト .....	29
VNC .....	30
9. 履歴 .....	31
保存データの表示 (再生) .....	31
保存データの消去 .....	33
10. その他のアップデート方法 .....	34
イーサネットによるアップデート .....	34
Wi-Fi によるアップデート .....	35
USB メモリによるアップデート .....	36
11. 保存データを PC で確認する .....	39
12. トラブルシューティング .....	40
13. 保証について .....	44

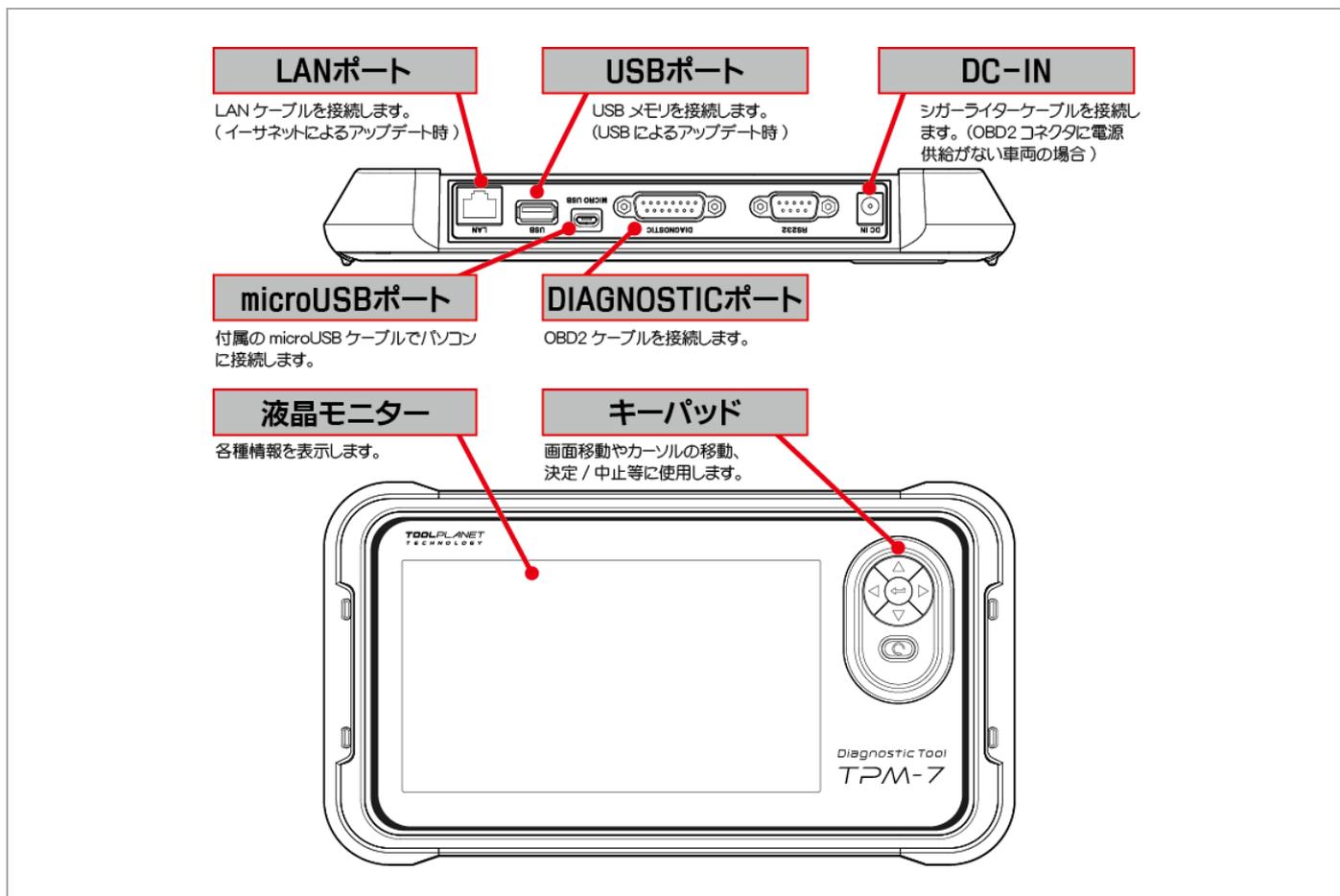
## 1. 梱包品の確認

ご使用前にすべての製品が揃っていることを確認してください。  
万一、不足の品がありましたらお手数ですがお買い上げの販売店までご連絡ください。

			
TPM-7 本体	OBD2 ケーブル	シガーケーブル	micro USB ケーブル
			
キャリングケース	クイックスタートガイド	AC アダプタ	保護フィルム

※リスト内の製品は予告なく変更する場合があります。予めご了承ください。

## 2. 各部名称



**本体仕様**

本体寸法:	254 (W) x 140 (H) x 35 (D) mm
本体重量:	709 g
電源電圧:	10-32VDC
使用温度範囲:	0~+50℃
保存温度範囲:	-20~+70℃
保存湿度範囲:	20~85%RH (但し結露のないこと)
標準 I/F:	High Speed CAN, Low Speed CAN, Single Wired CAN, ISO-9141, ISO-9141-2, KWP2000 SAE-J1708, J1850 (PWM/VPW), Generic (pull-up, UART×2), DDL, MMC
PC 用 I/F:	USB micro-B, Type-A, Ethernet(RJ45), D-Sub15 ピン, DC-IN
プリンタ I/F:	Bluetooth BR/EDR BLE4.1
CPU:	ARM Cortex M7 480MHz
ROM (OS) :	2MB
ROM (AP) :	8GB (Internal Flash eMMC)
RAM:	1MB
バッテリー:	リチウム 3.0V 50mAh (時計用)
LCD モニタ:	7.0 インチ (800 RGB x 480 pixels) TFT カラー液晶
OS:	FreeRTOS
操作キー:	ENTER,EXIT,↑,↓,←,→

※製品仕様は予告なく変更する場合があります。

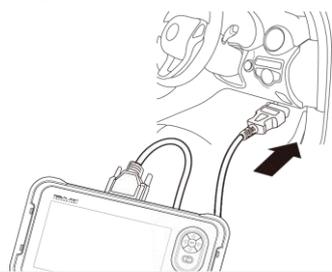
## 3. 初期設定と ID の確認

「設定」メニューから言語、コントラスト、キーパッドのバックライト、時計の設定が可能です。また、「本体 ID」メニューからシリアル番号、ダウンロード期間、保証期間の確認が行えます。

### 1 接続と起動

#### 1.

TPM-7 本体上部 DB15 ポートに OBD II ケーブルのコネクタを差し込みます。車両が**イグニッション OFF**であることを確認して TPM-7 を車両側 OBD II コネクタに接続してからイグニッションを ON にします。



接続してからイグニッション ON

#### 2.

起動してメインメニューが表示されます。



### 2 機能説明

#### 1.

メニューを選択します。各機能説明を参考にメニューを決定してください。



#### 診断

車両の故障診断などを行います。

「7. 診断」(16ページ)を参照してください。



#### 特殊機能

メンテナンスモード、エーミング、DPF 再生、簡易バッテリーテストを行います。

「8. 特殊機能」(26ページ)を参照してください。



#### 履歴

保存したデータの再生・削除を行います。

「9. 履歴」(31ページ)を参照してください。



#### 設定

言語切替えなどの本体設定を変更できます。

「3. 初期設定と ID の確認」(7ページ)を参照してください。



#### 本体 ID

本体 ID (シリアル番号)、ダウンロード期間および保証期間を確認できます。

「3. 初期設定と ID の確認」(8ページ)を参照してください。



#### ソフトウェア更新

ソフトウェアのアップデートを行います。

(イーサネット、Wi-Fi、USB 接続でのアップデート時)



### 3 設定画面の起動

1. 「設定」を選択して[ENTER]ボタンを押します。



2. 設定画面が表示されます。上下矢印ボタンで設定する項目を選択して[ENTER]ボタンを押します。



### 4 言語の設定

1. 上下矢印ボタンで言語を選択して[ENTER]ボタンを押して確定します。



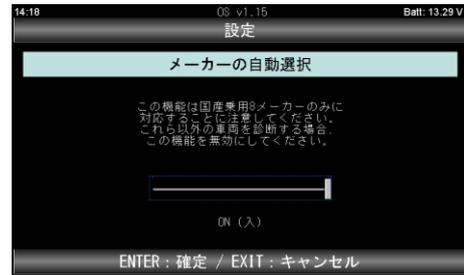
### 5 コントラストの設定

1. 上下矢印ボタンで10%、左右矢印ボタンで1%ずつ調整できます。調整後、[ENTER]ボタンを押して確定します。



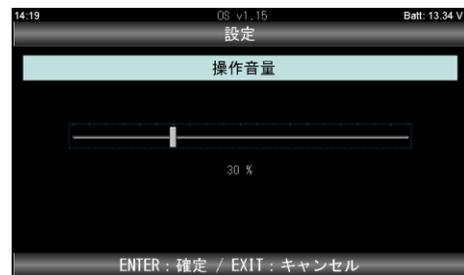
### 6 メーカーの自動選択

1. 左矢印ボタンで OFF、右矢印ボタンで ON を選択できます。[ENTER]ボタンを押して確定します。



### 7 操作音量

1. 上下矢印ボタンで10%、左右矢印ボタンで1%ずつ調整できます。調整後、[ENTER]ボタンを押して確定します。



### 8 ボタン音

1. 上下矢印ボタンで選択して[ENTER]ボタンを押して確定します。



### 9 時計

1. 上下矢印ボタンで変更、左右矢印ボタンでカーソルが移動します。設定後[ENTER]ボタンを押して確定します。



## 10 本体 ID

### 1.

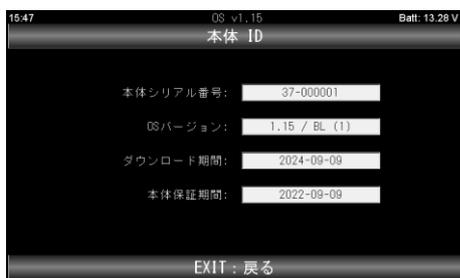
「本体 ID」を選択して[ENTER]ボタンを押します。



### 2.

本体情報が表示されます。

整備用スキャンツール申請時に必要なソフトウェアバージョン (OS バージョン) も確認できます。



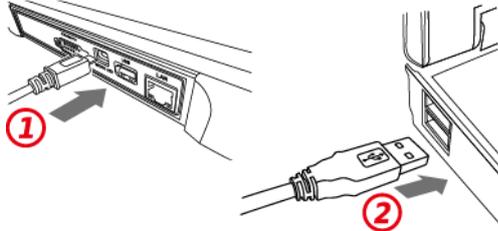
## 4. ユーザー登録

ソフトのインストールを行う為に、ユーザー登録を行います。手順に従ってユーザー登録を行ってください。

### 1 ユーザー登録

#### 1.

TPM-7 とパソコンを付属の microUSB ケーブルで接続します。



#### 2.

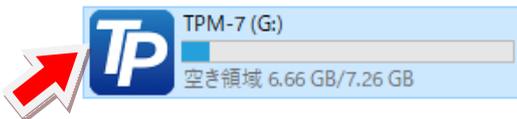
デスクトップ上の「コンピュータ」または「PC」をダブルクリックします。



※Windows10 をご使用で「PC」の開き方が分からない方は 10 ページを参照してください。

#### 3.

エクスプローラーが起動します。「リムーバブル記憶域があるデバイス」または「デバイスとドライブ」に「TPM-7」が表示されます。「TPM-7」をダブルクリックします。



#### 4.

「UPDATE」(アプリケーション) をダブルクリックします。

名前	種類
wifi_nw.dat	DAT ファイル
wf-fw.bin	BIN ファイル
VinBrand.dat	DAT ファイル
ver.dat	DAT ファイル
UPDATE.exe	アプリケーション
uni2sjis.dat	DAT ファイル

#### 5.

「登録内容変更」をクリックします。

Update アプリ (v308)

診断ソフトダウンロード:

本体シリアルNO: 37-000001

パスワード:

アップデート案内

#### 6.

プライバシーポリシーを読んで内容をよく理解して「同意する」をクリックします。

ユーザー登録につきまして

ユーザー登録をされる前に、下記「プライバシー・ポリシー (個人情報保護方針)」をよくお読みください。「同意する」ボタンをクリックすると、本規約の全ての条件に同意したことになります。

この度は故障診断機をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。故障診断機を使用するにはユーザー登録が必要となります。ユーザー登録の際にお客様(法人)のお名前/会社名/電話番号/ファックス購入店名/メールアドレス/住所を記入頂きます。ユーザー登録により本体保障が発生致します。

当社は、以下のとおり個人情報保護方針を定め、個人情報保護の仕組みを構築し、全従業員に個人情報保護の重要性の認識と取組みを徹底させることにより、個人情報の保護を推進致します。

**個人情報の管理**  
当社は、お客様の個人情報を正確かつ最新の状態で保ち、個人情報への不正アクセス・紛失・漏洩などを防止するため、セキュリティシステムの維持・管理体制の構築・社員教育の徹底等の必要経費を確保し、安全対策を実施し個人

#### 7.

「ユーザー登録」画面が表示されますので、各入力欄にお客様の情報を入力して[送信]をクリックしてください。

ユーザー登録

お名前:  電話:

会社名:  ファックス:

購入店名:  メールアドレス:

住所: 〒  東京都

**- 注意 -**

- ・入力欄は全て入力してください。  
未入力欄があると送信できません。
- ・ユーザー登録画面が表示されない場合は、「アップデート  
チェック」ボタンをクリックしてから、再度[登録内容変更]  
ボタンをクリックしてください。

**8.**

送信完了後、ご登録メールアドレスをご確認ください。  
「admin@scantool.co.jp」より「scantool.jp 登録  
受付メール」が届きます。  
メールを開いて本文にあるリンクをクリックします。

登録認証確認

下記リンクをクリックすると認証が完了します。

<http://www.scantool.jp/script/confirm.php?passkey=337>

リンクをクリックすると、ご使用のブラウザで  
「認証完了」ページが表示されます。



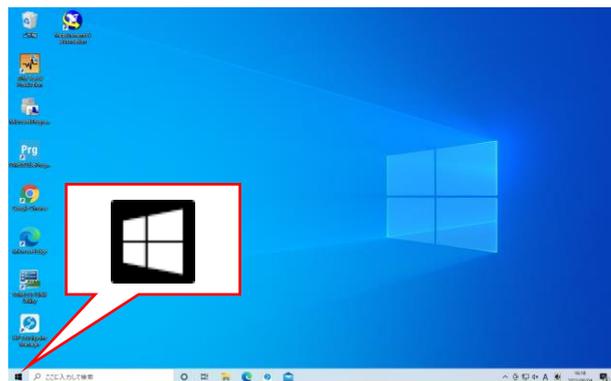
**- 注意 -**

- ・メールが届かない場合は「迷惑メール」に分類され  
ていないか確認してください。
- ・ダウンロード期間および本体保証期間は登録完了日  
から1年間です。
- ・故障診断技術サポートはお申込みから1年間です。

**Windows10 ご使用時のパソコンの開き方**

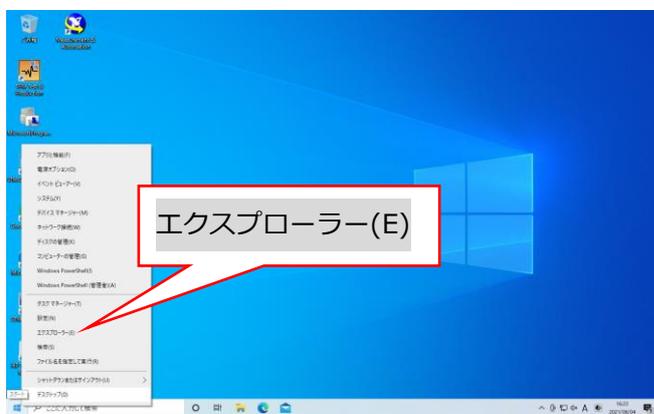
**1.**

画面左下の Windows マークを右クリックします。



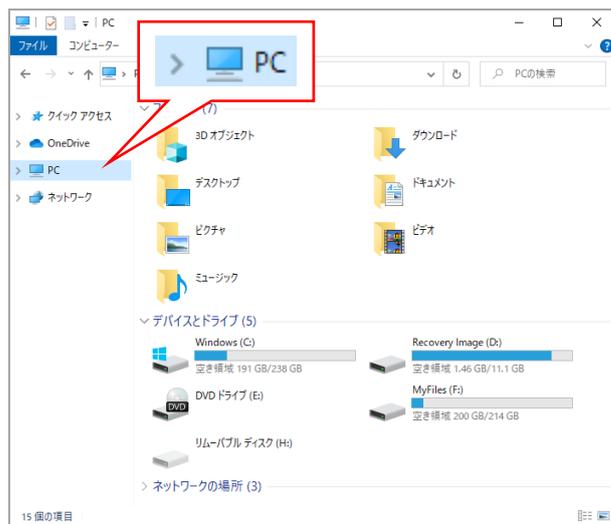
**2.**

メニューから「エクスプローラー」をクリックします。



**3.**

エクスプローラー画面が表示されたら、左側メニュー  
より「PC」をクリックします。



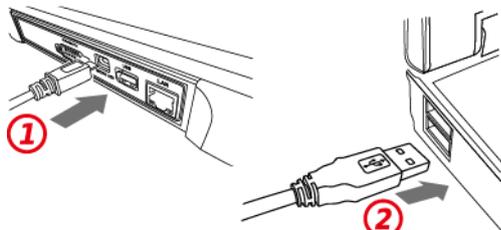
## 5. アップデート

ユーザー登録完了後、アップデートを行い最新ソフトをインストールします。

### 1 アップデート

#### 1.

TPM-7 とパソコンを付属の microUSB ケーブルで接続します。



#### 2.

デスクトップ上の「コンピュータ」または「PC」をダブルクリックします。



※Windows10 をご使用で「PC」の開き方が分からない方は 10 ページを参照してください。

#### 3.

エクスプローラーが起動します。「リムーバブル記憶域があるデバイス」または「デバイスとドライブ」に「TPM-7」が表示されます。「TPM-7」をダブルクリックします。



#### 4.

「UPDATE」(アプリケーション) をダブルクリックします。

名前	種類
wifi_nw.dat	DAT ファイル
wf-fw.bin	BIN ファイル
VinBrand.dat	DAT ファイル
ver.dat	DAT ファイル
UPDATE.exe	アプリケーション
uni2sjis.dat	DAT ファイル

### 5.

「アップデートチェック」をクリックします。

### 6.

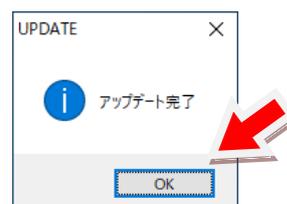
アップデートが始まり、ソフトが本体に書込まれます。

### 7.

「アップデート完了」が表示されましたら書込み完了です。

「OK」をクリックしてダイアログを閉じ、アプリケーションを終了します。

終了後、安全な取外しを行いパソコンから TPM-7 を取外して下さい。



その他のアップデート方法は「[こちらから](#)」ご確認ください。

## 6. 車両登録

お客様の車両ナンバーを登録することができます。登録することにより、2回目以降の診断時にメーカー選択を省略することができます。

### 1 新規登録

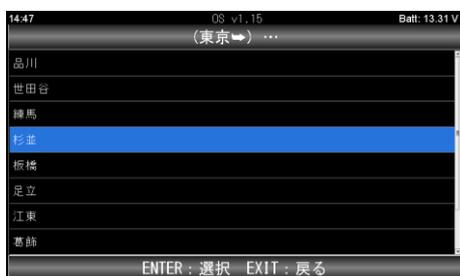
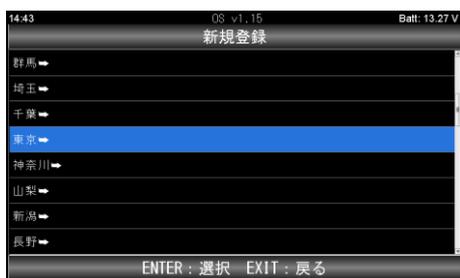
1. 「車両登録」を選択して[ENTER]ボタンを押します。



2. 「新規登録」を選択して[ENTER]ボタンを押します。



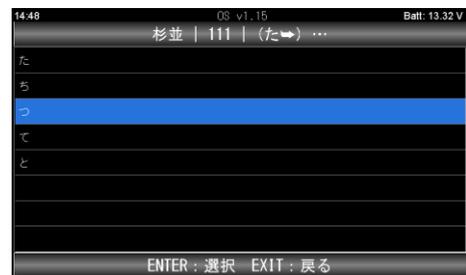
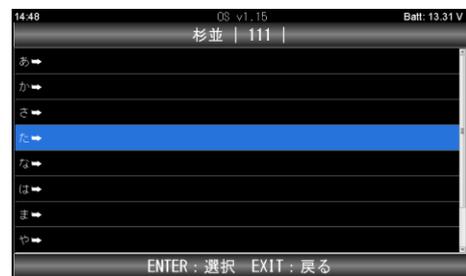
3. ナンバープレートの地名を選択します。



4. 3桁の車種コードを入力します。



5. 分類番号、車両の用途を示すひらがなを選択します。

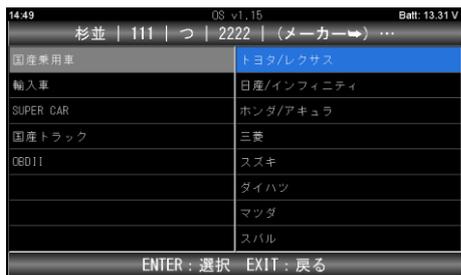


6. 4桁の一連指定番号を入力します。



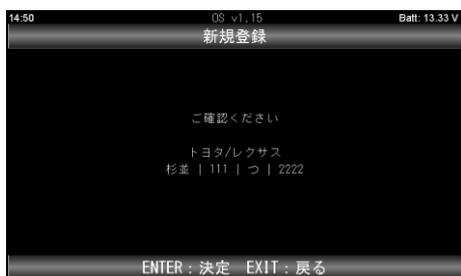
## 7.

メーカーを選択します。



## 8.

登録内容を確認して、間違いがなければ「ENTER」ボタンを押して決定します。  
変更がある場合は、「EXIT」ボタンを押して戻り修正してください。



## 9.

登録が完了しました。  
「ENTER」ボタンを押すと「診断」からメーカー選択が完了した後の画面に移り、そのまま診断を開始することができます。  
「EXIT」ボタンを押すと車両登録画面に戻ります。



## 2

### 登録済車両選択

### 1.

「車両登録」を選択して[ENTER]ボタンを押します。



### 2.

「登録済車両選択」を選択して[ENTER]ボタンを押します。



### 3.

メーカーを選択して[ENTER]ボタンを押します。



### 4.

診断するナンバーを選択して[ENTER]ボタンを押します。



5.  
選択したナンバーに間違いがなければ[ENTER]ボタンを押します。



6.  
イニシャライズが完了すると、選択したナンバーのメーカーのメインメニューが表示されます。



### 3 登録済車両削除

1.  
「車両登録」を選択して[ENTER]ボタンを押します。



2.  
「登録済車両削除」を選択して[ENTER]ボタンを押します。



3.  
メーカーを選択して[ENTER]ボタンを押します。



4.  
削除するナンバーにカーソルを合わせます。



5.  
「選択・解除」にカーソルを合わせて「ENTER」ボタンを押します。  
削除する車両ナンバーにチェックマークがついていることを確認します。



6.  
「削除」にカーソルを合わせて「ENTER」ボタンを押します。



## 7.

「ENTER」ボタンを押して決定します。



## 8.

削除が完了しました。



## 7. 診断

診断ソフトの選択から故障コードの読取り、消去など基本的な操作をトヨタソフトを例に説明します。

### 1 故障コードの読取

1. 「診断」を選択して[ENTER]ボタンを押します。



2. メーカー選択画面から診断メーカーにカーソルを矢印ボタンで移動して[ENTER]ボタンを押します。



3. 診断ソフトが起動します。



4. 診断ソフトにより地域設定画面が表示されます。地域を選択してください。(通常「日本」)



5. 診断ソフトにより車両検出選択画面が表示されます。通常は「自動検出」を選択してください。選択して[ENTER]ボタンを押します。



6. 診断ソフトのメインメニュー画面が表示されます。「診断」を選択して[ENTER]ボタンを押します。



7. システム選択画面が表示されます。目的に合った項目を選択して[ENTER]ボタンを押します。(例：全自己診断の場合)



- 「全システム」「パワートレイン」などは個別でシステムを選択できます。
- 「全自己診断」は車両に搭載されている全システムの故障コードの読取りを自動で行います。

(次のページへ)

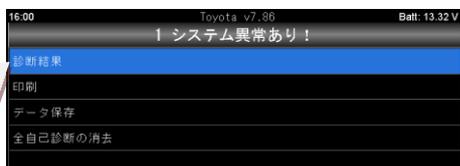
## 8.

車両に搭載されている各システムの故障コードの読取が開始されます。



## 9.

点検結果が画面上部に表示されます。異常がない場合は「異常なし」ある場合は「○システム異常あり!」が表示されます。どのシステムに異常があるかを確認する場合は「診断結果」を選択して[ENTER]ボタンを押します。



※全自己診断からは現在故障としてメモリされている故障コードしか検出しません。

ENTER : 選択 EXIT : 戻る

全自己診断結果画面から行えること

- 印刷 : 詳しくは [21 ページ](#)へ
- データ保存 : 詳しくは [20 ページ](#)へ
- 全自己診断の消去 : 詳しくは [18 ページ](#)へ

## 10.

診断結果の一覧が表示されます。故障コードがメモリされていないシステムは「OK」メモリされているシステムは「故障コードの数+DTC」が表示されます。故障コードを確認するには該当システムを選択して[ENTER]ボタンを押します。



## 11.

選択したシステムの診断メニューが表示されます。「故障コードの読取」を選択して[ENTER]ボタンを押します。



## 12.

故障番号と内容が表示されます。[ENTER]ボタンを押すと詳細表示されます。



詳細表示画面では「データ保存」「印刷」ができます。詳しくは [20 ページ](#)をご覧ください。

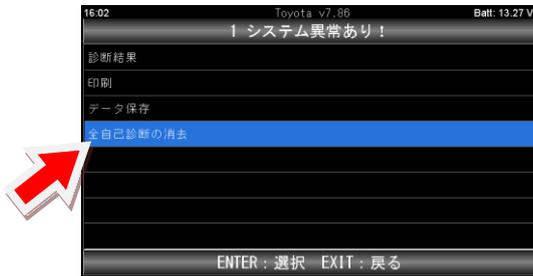
## 2

### 故障コードの消去

全自己診断からの故障  
コード消去の場合

#### 1.

点検結果画面から「全自己診断の消去」を選択して  
[ENTER]ボタンを押します。



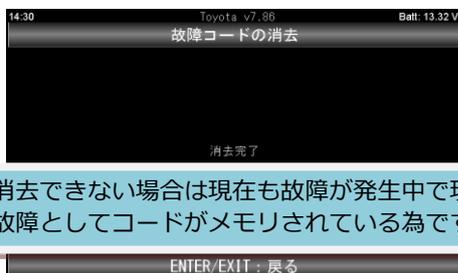
#### 2.

消去の実行は[ENTER]ボタンを押します。  
消去は**イグニッション ON**で行います。



#### 3.

消去が完了すると以下の画面が表示されます。  
[EXIT]ボタンを押して戻ります。



※消去できない場合は現在も故障が発生中で現在  
故障としてコードがメモリされている為です。

## 3

### 故障コードの消去

個別システムからの故障  
コード消去の場合

#### 1.

診断メニュー画面から「故障コードの消去」を選択  
して[ENTER]ボタンを押します。



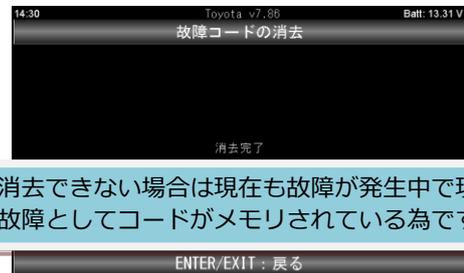
#### 2.

消去の実行は[ENTER]ボタンを押します。  
消去は**イグニッション ON**で行います。



#### 3.

消去が完了すると以下の画面が表示されます。  
[EXIT]ボタンを押して戻ります。



※消去できない場合は現在も故障が発生中で現在  
故障としてコードがメモリされている為です。

## 4 データモニタ

### 1.

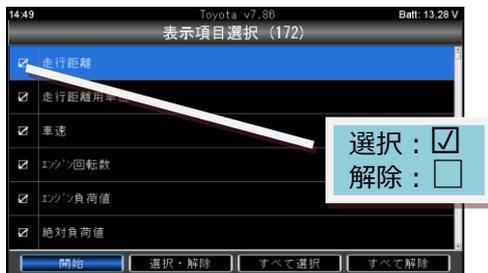
個別システムの診断メニュー画面から「データモニタ」を選択して[ENTER]ボタンを押します。



### 2.

表示選択項目が表示されます。

全項目にチェックが入った状態で表示されます。  
[開始]を選択して[ENTER]ボタンを押すとチェックが入っているすべての項目が表示されます。



- [選択・解除] → 1項目ずつ変更できます。
- [すべて選択] → すべての項目が選択されます。
- [すべて解除] → すべての項目が解除されます。

1項目ずつ変更する場合は左右ボタンで [選択・解除] にカーソルを合わせてから上下ボタンで変更したい項目に合わせて[ENTER]ボタンを押します。  
ボタンを押す度に選択⇔解除が切替わります。

### 3.

「表示選択項目」で選択された項目が表示されます。

項目	値	単位	最小値	平均値	最大値
走行距離	8		8	8	8
走行距離用単位	km				
車速	0 km/h		0	0	0
エンジン回転数	0 rpm		0	0	0
エンジン負荷値	0.0 %		0.0	0.0	0.0
絶対負荷値	0.0 %		0.0	0.0	0.0

### 4.

#### リスト表示の場合

項目	値	単位	最小値	平均値	最大値
走行距離	8		8	8	8
走行距離用単位	km				
車速	0 km/h		0	0	0
エンジン回転数	0 rpm		0	0	0
エンジン負荷値	0.0 %		0.0	0.0	0.0
絶対負荷値	0.0 %		0.0	0.0	0.0

[上下]ボタンで1項目ずつ表示がスクロールします。  
また、画面下左右の[上下矢印ボタン]を選択して[ENTER]を押すとページ移動ができます。

リスト表示画面では「データ保存」「印刷」ができます。  
保存したデータは「履歴」から閲覧できます。  
詳しくは「9. 履歴」(31ページ)をご覧ください。

#### グラフ表示の場合



「データモニタ」を選択した際に「リスト表示」と「グラフ表示」の選択画面が表示されます。  
「グラフ表示」を選択するとグラフ表示することができます。

※複数選択した場合でも、2項目毎の表示となります。

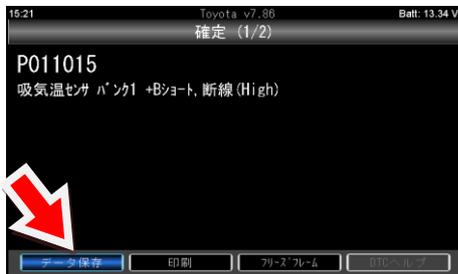
## 5 データ保存

### 故障コードの保存

1.  
「故障コードの読取」画面で[ENTER]ボタンを押します。



2.  
詳細表示画面から[データ保存]を選択して[ENTER]ボタンを押します。



3.  
データが保存されます。

保存したデータは「履歴」から閲覧できます。  
詳しくは「9. 履歴」(31 ページ)をご覧ください。



### データモニタの保存

1.  
データモニタ表示画面から[データ保存]を選択して[ENTER]ボタンを押します。

項目	値	単位	最小値	平均値	最大値
走行距離	8		8	8	8
走行距離用単位	km				
車速	0	km/h	0	0	0
エンジン回転数	0	rpm	0	0	0
エンジン負荷	0.0	%	0.0	0.0	0.0
絶対負荷	0.0	%	0.0	0.0	0.0

2.  
データの保存が開始されます。  
[ENTER]または[EXIT]ボタンを押すまで保存し続けます。ボタンを押すと保存を終了します。



3.  
データが保存されます。

保存したデータは「履歴」から閲覧することができます。  
詳しくは「9. 履歴」(31 ページ)をご覧ください。



TPM-7はBluetooth機能を使用して、Bluetoothミニプリンター（TP-SIIMP-B30）と接続して印刷することが可能です。初めて印刷を行う際は下記手順で設定（ペアリング）を行ってください。

## 6 結果を印刷する

### 1.

画面下に「印刷」ボタンが表示されている画面を表示します。



### 2.

プリンターの電源ボタン（1）を長押しします。POWERランプ（3）の緑が点灯してWIRELESSランプ（2）の青が点滅から2回点滅を繰り返すまで長押しします。青ランプが2回点滅を繰り返し始めたらボタンから手を離します。（ペアリング待機状態）



### 3.

「印刷」ボタンを選択し [ENTER]ボタンを押します。



### 4.

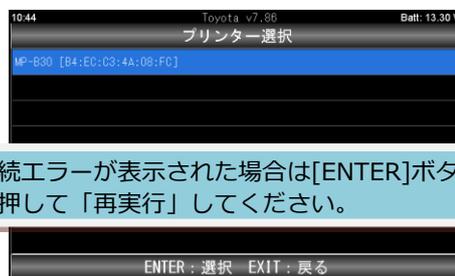
診断機がプリンターの検索を開始します。

※検索には少し時間がかかります。



### 5.

プリンターが検出されたら[ENTER]ボタンを押します。



### 6.

プリンターが登録され印刷が開始されます。



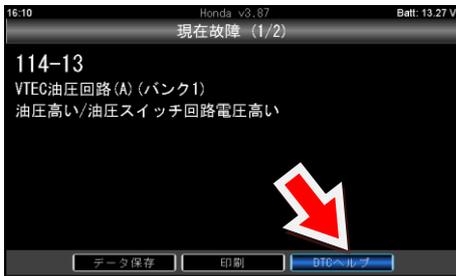
以上で登録が完了しました。

一度登録されると、次回からプリンター選択画面は表示されません。

## 7 DTC ヘルプ機能

### 1.

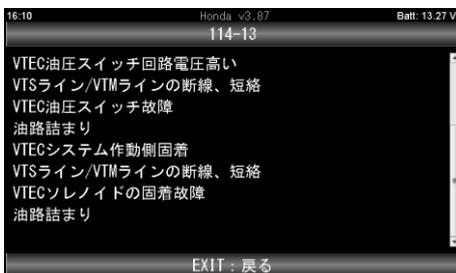
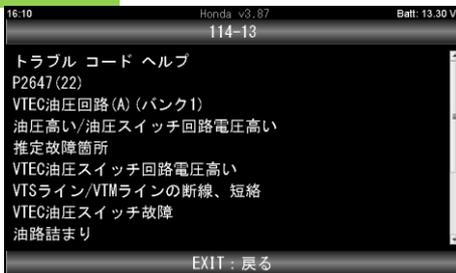
診断ソフトによっては DTC ヘルプ機能があります。  
故障コードの詳細画面の表示で「DTC ヘルプ」を選択して[ENTER]ボタンを押します。



### 2.

DTC ヘルプ画面では故障コードの検出条件などの情報が表示されます。

#### 例：ホンダソフト



注意：カスタマイズ機能はメーカーにより異なります。

## 8 カスタマイズ

例：トヨタ車のシートベルトウォーニングブザー設定の場合

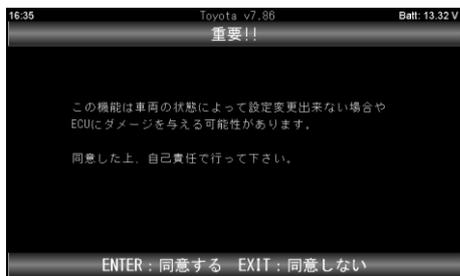
### 1.

トヨタ診断ソフトのメインメニューまで進みます。  
「カスタマイズ」を選択し[ENTER]ボタンを押します。



### 2.

注意事項が表示されます。  
確認して[ENTER]ボタンを押します。



### 3.

搭載システムの検出が開始されます。



### 4.

カテゴリ別に表示されます。  
「ウォーニング」を選択し[ENTER]ボタンを押します。



### 5.

「助手席シートベルトウォーニングブザー」を選択して[ENTER]ボタンを押します。



### 6.

現在の設定が反転して表示されます。  
上下矢印ボタンで選択後[ENTER]ボタンを押して決定します。



### 7.

設定が変更されました。  
[ENTER]または[EXIT]ボタンを押して終了します。



**注意：作業サポートの手順はメーカー発行の整備書を参照してください。**

## 9 作業サポート

例：トヨタ車のHV「整備モード」の場合

### 1.

トヨタ診断ソフトのメインメニューまで進みます。「作業サポート」を選択し[ENTER]ボタンを押します。



### 2.

搭載システムの検出が開始されます。



### 3.

システム選択画面から「HV」を選択し[ENTER]ボタンを押します。



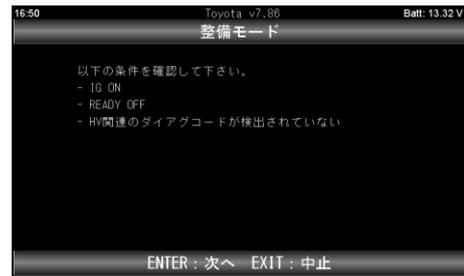
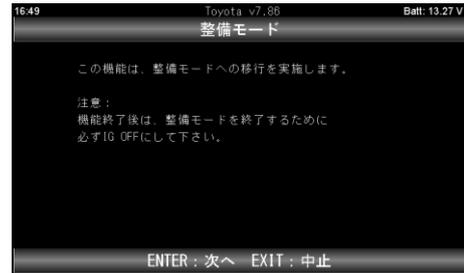
### 4.

機能一覧画面から「整備モード」を選択して[ENTER]ボタンを押します。



### 5.

機能説明と前提条件が表示されます。確認して[ENTER]ボタンを押します。



### 6.

整備モード選択画面から目的に合ったモードを選択して[ENTER]ボタンを押します。



#### 排ガス測定用：

- シフトポジションP時のエンジン強制アイドルリング
- TRC装置の作動解除

#### TRC 禁止用：

- TRC装置の作動解除

### 7.

整備モード移行が完了しました。READY ONで適応されます。



注意：アクティブテストの手順はメーカー発行の整備書を参照してください。

## 10 アクティブテスト

例：トヨタ車のエンジンパワーバランスの場合

### 1.

トヨタ診断ソフトのメインメニューまで進みます。「アクティブテスト」を選択し[ENTER]ボタンを押します。



### 2.

搭載システムの検出が開始されます。



### 3.

システム選択画面から「エンジン」を選択し[ENTER]ボタンを押します。



### 4.

機能一覧画面から「パワーバランス」を選択して[ENTER]ボタンを押します。



### 5.

左右ボタンで気筒を選択して[ENTER]ボタンを押して実行します。

項目	値	単位	最小値	平均値	最大値
車速	0	km/h	0	0	0
エンジン回転数	0	rpm	0	0	0
エンジン負荷値	0.0	%	0.0	0.0	0.0
絶対負荷値	0.0	%	0.0	0.0	0.0
吸入空気量	0.21	g/s	0.21	0.21	0.21

項目	値	単位	最小値	平均値	最大値
車速	0	km/h	0	0	0
エンジン回転数	0	rpm	0	0	0
エンジン負荷値	0.0	%	0.0	0.0	0.0
絶対負荷値	0.0	%	0.0	0.0	0.0
吸入空気量	0.21	g/s	0.21	0.21	0.21

## 8. 特殊機能

「特殊機能」は作業サポート機能をまとめて、選択の手間を省略化した機能です。  
メンテナンスモード、DPF 再生機能、エーミングモード、簡易バッテリーテストが実行できます。

### 1 特殊機能の各アイコン

 メンテナンスモード	<b>メンテナンスモード：</b> ブレーキのエア抜きや整備モードなど 常に行う作業サポート項目を まとめてあります。
 DPF	<b>DPF：</b> DPF 再生に関連する機能をまとめて あります。
 エーミング	<b>エーミング：</b> エーミングに関連する機能をまとめて あります。
 簡易バッテリーテスト	<b>簡易バッテリーテスト：</b> 車両側 OBD2 コネクタのバッテリー 端子の電圧からバッテリーの簡易点検 を行います。
 VNC	<b>VNC：</b> LAN ケーブルで接続された TPM-7 を パソコンで操作できます。

### 2 DPF (例：日野・プロフィア)

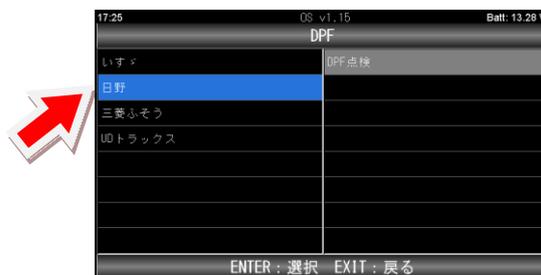
1. 「特殊機能」を選択して[ENTER]ボタンを押します。



2. 「DPF」を選択して[ENTER]ボタンを押します。



3. 車両メーカーから「日野」を選択して[ENTER]ボタンを押します。



4. 「DPF 点検」を選択して[ENTER]ボタンを押します。



5. 「トラック」を選択して[ENTER]ボタンを押します。



6. 「プロフィア」を選択して[ENTER]ボタンを押します。



### 7.

該当する排ガス記号を選択して[ENTER]ボタンを押します。



### 8.

車両情報が正しければ[ENTER]ボタンを押します。



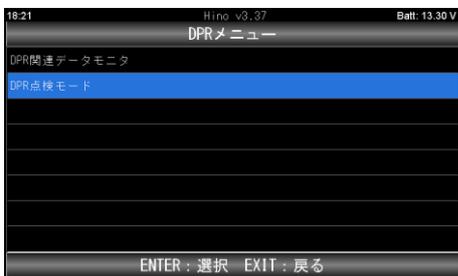
### 9.

「DPF 関連データモニタ」「DPF 点検モード」選択画面が表示されます。



### 10.

「DPF 点検モード」を選択すると、画面に作業内容が表示されます。[ENTER]を押すことで作業指示が表示されますので、指示に従い作業を進めてください。



**注意：カーメーカー、車種、年式毎に対応している機能が異なります。整備書をよくご確認の上、車両整備を実施してください。**

## 3 エーミング (例：トヨタ・プリウス)

### 1.

「特殊機能」を選択して[ENTER]ボタンを押します。



### 2.

「エーミング」を選択して[ENTER]ボタンを押します。



### 3.

「エーミング作業」を選択して[ENTER]ボタンを押します。



### 4.

「トヨタ」を選択して[ENTER]ボタンを押します。車種選択については「7.診断」(16ページ)を参考に選択します。



5.  
車両搭載システムを確認中です。



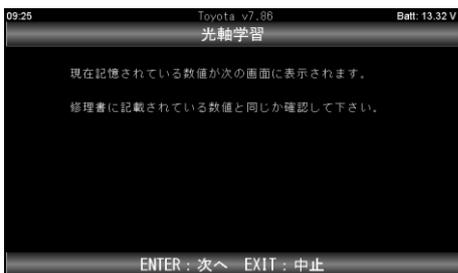
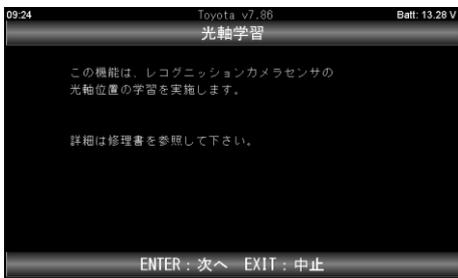
6.  
エーミング項目一覧が表示されます。  
(例：カメラ光軸調整を行います。)  
「前方認識カメラ」を選択して[ENTER]ボタンを押します。



7.  
「光軸学習」を選択して[ENTER]ボタンを押します。



8.  
表示内容を確認して[ENTER]ボタンを押します。

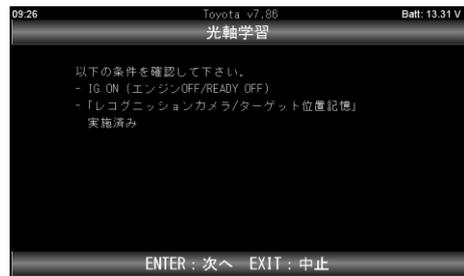


9.  
数値を確認して[ENTER]ボタンを押します。

項目	値	単位	最小値	平均値	最大値
レコグニションカメラ高さ	1288	mm	1288	1288	1288
レコグニションカメラ横位 置	7	mm	7	7	7
レコグニションカメラ搭載 ヨー角	0.00	°	0.00	0.00	0.00
レコグニションカメラ搭載 ピッチ角	-2.42	°	-2.42	-2.42	-2.42
ターゲット1高さ	1350	mm	1350	1350	1350

09:25 Toyota v7.86 Batt: 13.27 V  
ENTER: 次へ

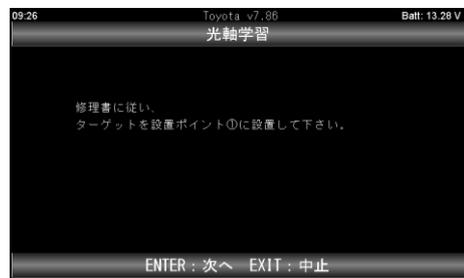
10.  
エーミングを実施する為の前提条件を確認して  
[ENTER]ボタンを押します。



11.  
「一括認識」「順次認識」の学習方法選択画面が表示  
されます。どちらか選択して[ENTER]ボタンを押し  
ます。(例：一括認識)

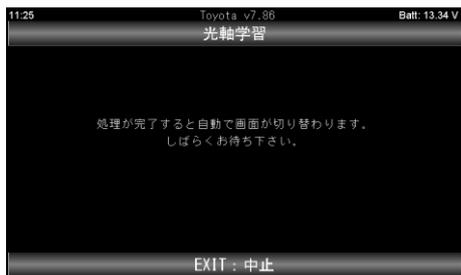


12.  
整備書に従い、ターゲットを設置します。  
設置が完了したら[ENTER]ボタンを押します。



### 13.

学習処理が完了するまで、しばらく待機します。



### 14.

「光軸学習が完了しました。」画面に切替われば、学習完了です。



**注意：カーメーカー、車種、年式毎に対応している機能が異なります。整備書をよくご確認の上、車両整備を実施してください。**

## 4 簡易バッテリーテスト

### 1.

この機能は 12V バッテリーと充電システムの簡易点検が行えます。(HV 車、24V 車は対象外)  
尚、端子電圧のみで判定を行う為、最終的な良否判断は CCA 値などの測定が可能なバッテリーチェッカーによる点検や整備書に基づいた点検を行い判定してください。

- 車両側の IG キーをオンにします。
- 「簡易バッテリーテスト」を選択して[ENTER]ボタンを押してください。



### 2.

車両の状態を確認する画面が表示されます。確認して[ENTER]ボタンを押します。



### 3.

始動前のバッテリー電圧が表示されます。画面に従い、エンジンを始動させてください。



## 4.

始動時のバッテリー電圧と充電電圧の計測が開始されます。



## 5.

計測された始動前、始動時、始動後の充電電圧値が表示されます。

[ENTER]ボタンを押します。



## 6.

計測した電圧値がグラフ表示されます。

[EXIT]ボタンを押します。



## 7.

点検結果が表示されます。



## 5 VNC

### 1.

この機能は、操作するパソコンと同一ネットワーク上に LAN ケーブルで接続された TPM-7 を、無料ソフトの「VNC Viewer」を使用して操作できる機能です。

Windows 用の無料ソフト「VNC Viewer」は、インターネットで検索してダウンロード、インストールする必要があります。

ダウンロードおよびインストールは自己責任で行ってください。

また、使用方法は「VNC Viewer」の取扱説明書などでご確認ください。

TPM-7 を起動して LAN ケーブルを接続します。



「VNC」を選択して[ENTER]ボタンを押します。



### 2.

IP アドレスが取得されると画面に表示されます。TPM-7 はこのまま待機します。

パソコンの「VNC Viewer」を起動して手順に従い操作を行ってください。



## 9. 履歴

保存した故障コードやデータモニタの表示（再生）や削除が行えます。

### 1 保存データの表示（再生）

#### 故障コードの場合

#### 1.

「履歴」を選択して[ENTER]ボタンを押します。



#### 2.

「再生」を選択して[ENTER]ボタンを押します。



#### 3.

「登録済車両」「未登録車両」の選択画面が表示されます。いずれかを選択して[ENTER]ボタンを押します。  
(例：登録済車両)



#### 4.

保存を実行した診断ソフトの一覧が表示されます。再生するデータが保存されている診断ソフトを選択して[ENTER]ボタンを押します。



#### 5.

再生するデータが保存されている車両ナンバーを選択して[ENTER]ボタンを押します。



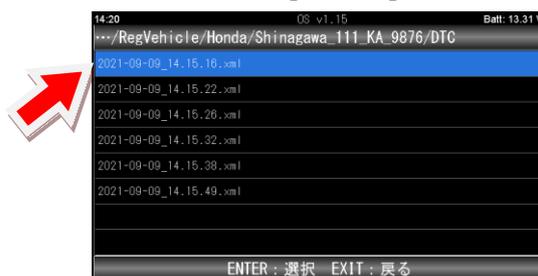
#### 6.

保存したデータの種類の選択画面が表示されます。「DTC」を選択して[ENTER]ボタンを押します。



#### 7.

保存データ選択画面が表示されます。再生するデータを選択し[ENTER]ボタンを押します。



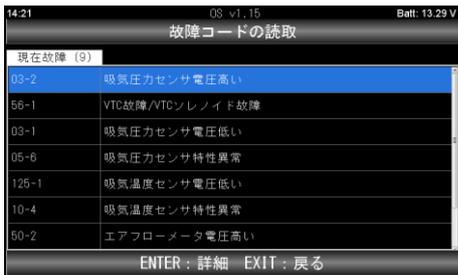
## 8.

保存したデータ、システムが表示されますので選択して [ENTER]ボタンを押します。



## 9.

保存されたデータが表示されます。



## データモニタの場合

### 1.

故障コードの場合と同様に手順 6.まで行います。保存したデータの種類の選択画面から「DataStream」を選択して[ENTER]ボタンを押します。



### 2.

保存データ選択画面が表示されます。再生するデータを選択し[ENTER]ボタンを押します。



### 3.

表示項目選択画面が表示されます。表示する項目を選択後、「開始」を選択して[ENTER]ボタンを押します。保存データが表示されます。左右矢印ボタンを押すと保存データがコマ送りで表示されます。



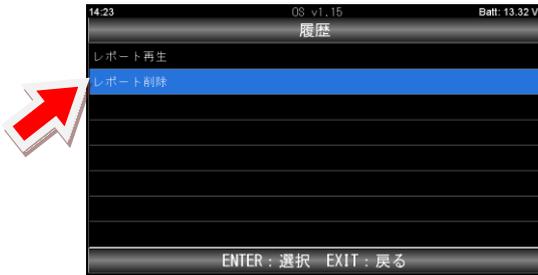
項目	値	単位	最小値	平均値	最大値
エンジン回転	0.00	PPM	0.00	0.00	0.00
車速	0	km/h	0	0	0
水温センサ	54	°C	54	54	54
ラジエータ水温 センサ	29	°C	29	29	29
吸気温度センサ 1	42	°C	42	42	42

At the bottom, there is a timer showing '00:00:00' and a '印刷' (Print) button.

## 2 保存データの消去

### 1.

「履歴」メニューから「レポート削除」を選択して[ENTER]ボタンを押します。



### 2.

再生の場合と同様に手順 6.まで行います。データ選択画面が表示されますので、[選択・解除][全て選択][全て解除]ボタンのいずれかを使用して削除するファイルに☑を入れます。



### 3.

[削除]ボタンを選択して[ENTER]ボタンを押します。



### 4.

「ファイルを削除しますか？」画面が表示されます。問題がなければ[ENTER]ボタンを押して実行します。保存データが削除されました。



## 10. その他のアップデート方法

### 1 イーサネットによるアップデート

1. 付属の AC アダプタを使用して本体に電源供給し、LAN ケーブルを本体に接続します。



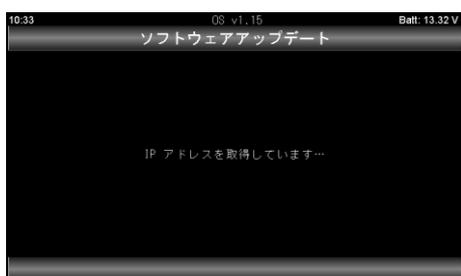
2. 「ソフトウェア更新」を選択して[ENTER]ボタンを押します。



3. 「イーサネット」を選択して[ENTER]ボタンを押します。



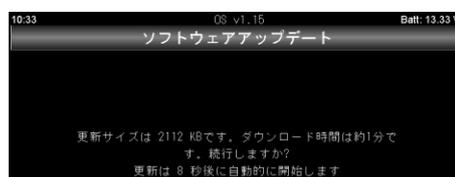
4. IP アドレス、ファイルの取得が開始されます。



5. ファイルの整合性のチェックが開始されます。



6. ダウンロードの確認画面が表示されます。[ENTER]ボタンを押すか、暫くすると自動で開始します。



更新サイズやご利用の回線によって、ダウンロード時間は異なります。

7. ダウンロードが開始されます。



8. 更新完了です。[ENTER/EXIT]いずれかのボタンを押して終了します。



# 1 Wi-Fi によるアップデート

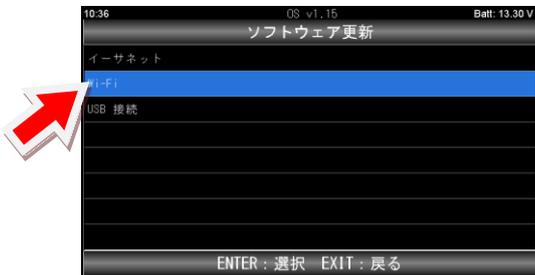
## 1.

付属の AC アダプタを使用して本体に電源供給します。  
「ソフトウェア更新」を選択して[ENTER]ボタンを押します。



## 2.

「Wi-Fi」を選択して[ENTER]ボタンを押します。



## 3.

Wi-Fi 機能が ON になります。



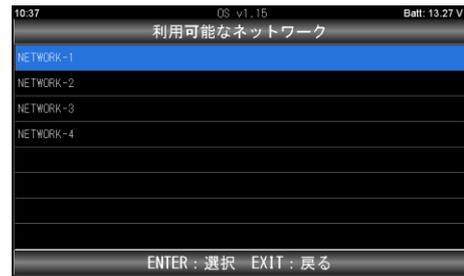
## 4.

Wi-Fi ネットワークの検索が開始されます。



## 5.

利用可能なネットワークが表示されます。



## 6.

利用するネットワークを選択するとセキュリティキーの入力画面が表示されます。  
入力して「OK」を選択します。



同じネットワークに接続する場合、  
2 回目からセキュリティキーの入力は  
必要ありません。

## 7.

選択したネットワークへの接続が開始されます。



## 8.

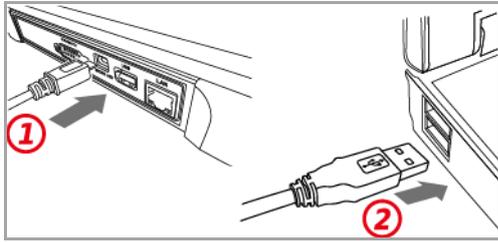
以降は「イーサネットによるアップデート」の手順  
5.からと同様です。



# 1 USBメモリによるアップデート

## 1.

始めにシリアル番号とパスワードの確認を行います。  
TPM-7 とパソコンを付属の microUSB ケーブルで接続します。



## 2.

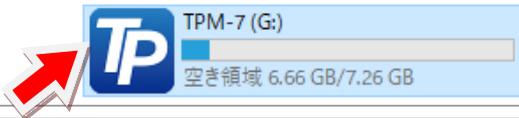
デスクトップ上の「コンピュータ」または「PC」をダブルクリックします。



※Windows10 をご使用で「PC」の開き方が分からない方は [10 ページ](#)を参照してください。

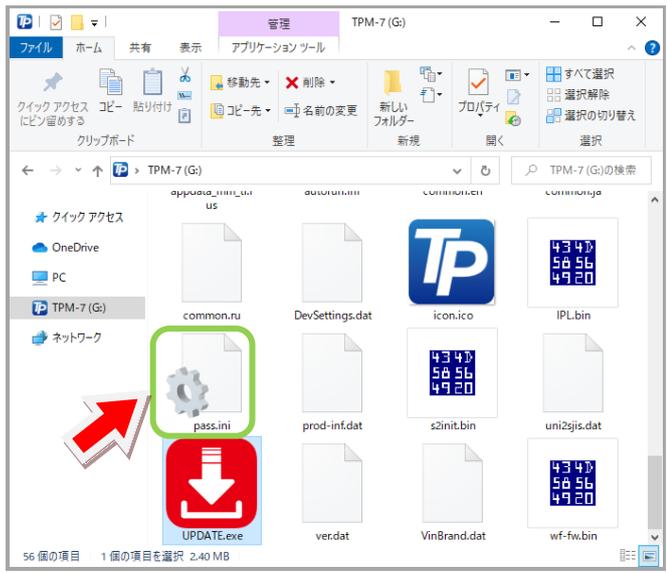
## 3.

エクスプローラーが起動します。  
「リムーバブル記憶域があるデバイス」または「デバイスとドライブ」に「TPM-7」が表示されます。  
「TPM-7」をダブルクリックします。



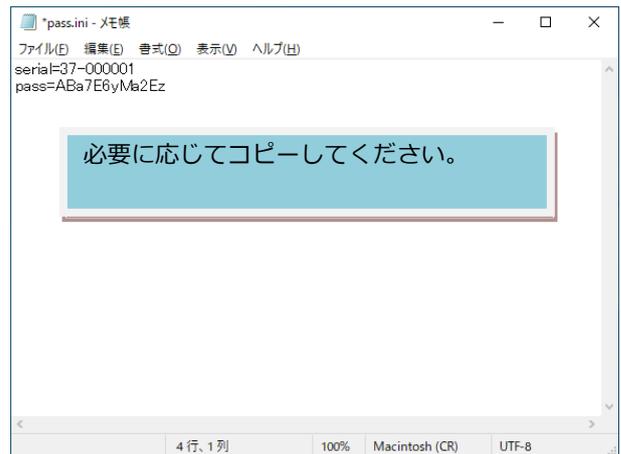
## 4.

TPM-7 内の「pass.ini」をダブルクリックします。



## 5.

serial (シリアル番号) と pass (パスワード) の確認を行います。



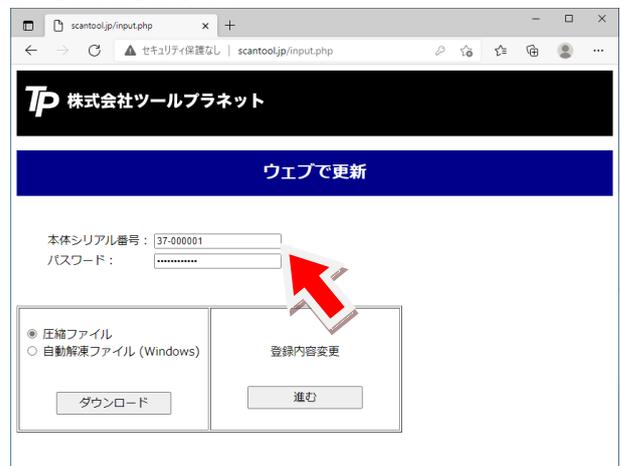
## 6.

ご使用のブラウザを起動して、アドレスバーに「scantool.jp」を入力して ENTER キーを押し、ウェブ更新サイトへアクセスします。  
日本語が選択されていることを確認して「進む」をクリックします。



## 7.

手順 5 で確認した本体シリアル番号とパスワードをそれぞれ入力します。



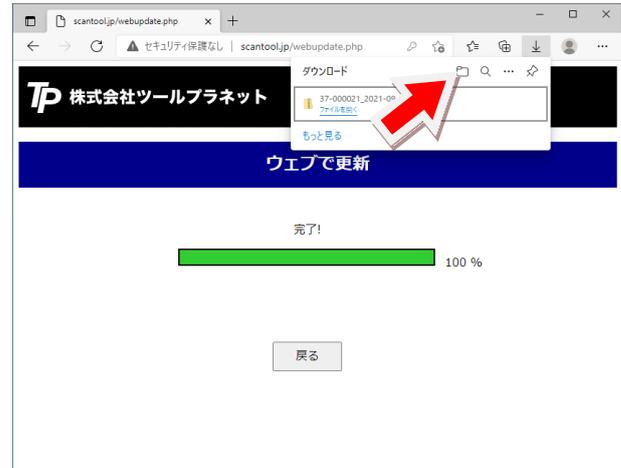
## 8.

「圧縮ファイル」が選択されていることを確認して「ダウンロード」をクリックします。



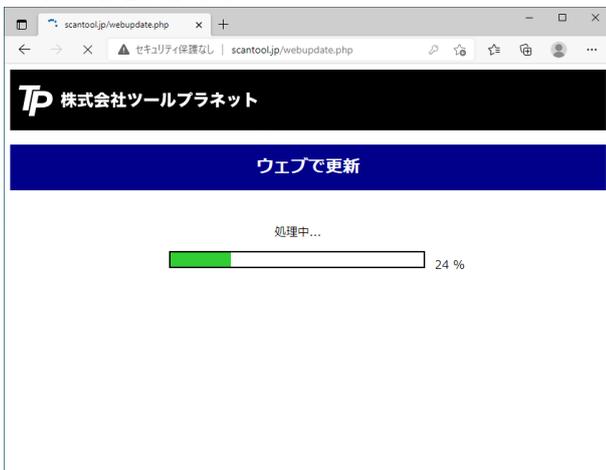
## 11.

ダウンロードが完了しました。「ダウンロードフォルダを開く」をクリックして表示します。



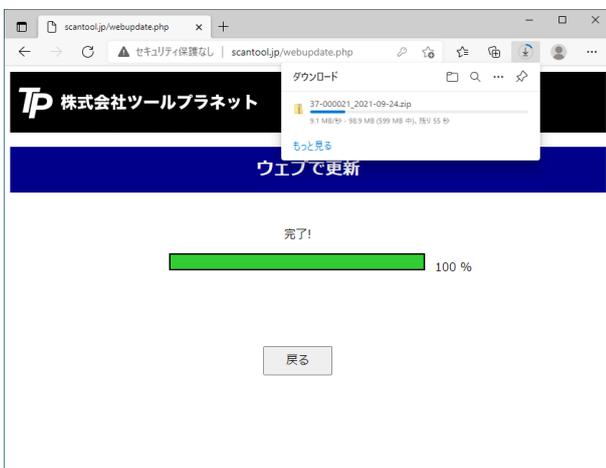
## 9.

処理が開始されます。



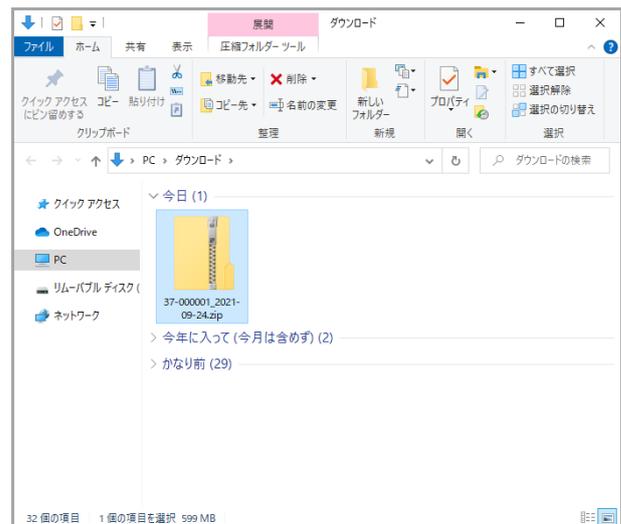
## 10.

処理が完了すると圧縮ファイル (.zip) 形式で指定されている保存先に自動でダウンロードが開始されます。(通常は「ダウンロードフォルダ」に保存されます。)



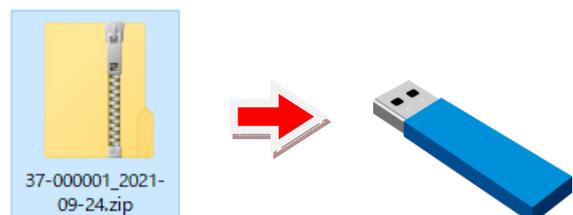
## 12.

ダウンロードされた圧縮ファイル (.zip) が確認できます。ファイル名は「ご使用機器のシリアル番号+日付」です。



## 13.

ダウンロードした圧縮ファイルを USB メモリにコピーします。(USB メモリは別途ご用意ください)



## 14.

付属の AC アダプタを使用して本体に電源供給し、ファイルをコピーした USB メモリを本体に接続します。「ソフトウェア更新」を選択して[ENTER]ボタンを押します。



## 15.

「USB 接続」を選択して[ENTER]ボタンを押します。



## 16.

ファイルの選択画面が表示されます。USB メモリにコピーしたファイルを選択します。(例: 「37-000001\_2021-09-17.zip」)



## 17.

アップデートが開始されます。



## 18.

更新完了が表示されるとアップデート完了です。

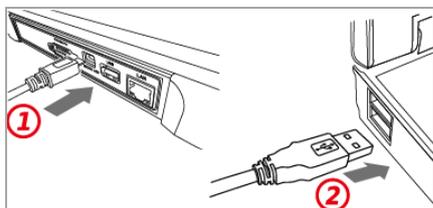


# 11. 保存データを PC で確認する

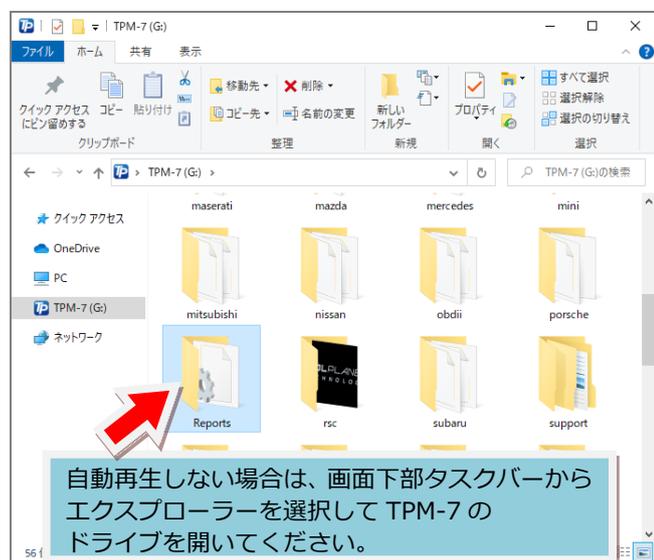
保存したデータは本体とパソコンを接続して確認することができます。

## 1 ファイルを表示する

1. 本体とパソコンを付属の USB ケーブルで接続します。



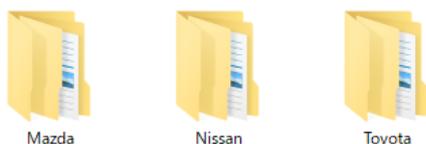
2. パソコンの自動再生が ON に設定されている場合は TPM-7 のドライブが開きます。



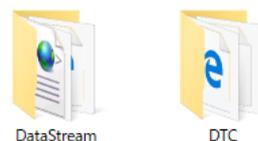
3. 「TPM-7」のドライブ内にある「Reports」フォルダを開きます。



4. 保存を実行した診断ソフト毎にカーメーカー名のフォルダが表示されます。選択してカーメーカー名のフォルダを開きます。



5. 保存を実行した機能名のフォルダが表示されます。選択してフォルダを開きます。



6. 保存したデータファイルの一覧が表示されます。一つの保存ファイル毎に拡張子が「html」と「xml」のファイルがそれぞれ保存されています。拡張子「html」のファイルを開きます。

名前	更新日時	種類
2019-10-21_09.00.33.html	2019/10/21 9:00	HTML ファイル
2019-10-21_09.00.33.xml	2019/10/21 9:00	XML ドキュメント
2019-10-21_09.00.38.html	2019/10/21 9:00	HTML ファイル
2019-10-21_09.00.38.xml	2019/10/21 9:00	XML ドキュメント
2020-02-18_19.10.37.html	2020/02/18 19:10	HTML ファイル
2020-02-18_19.10.37.xml	2020/02/18 19:10	XML ドキュメント
All_2020-02-18_19.10.19.html	2020/02/18 19:10	HTML ファイル
All_2020-02-18_19.10.19.xml	2020/02/18 19:10	XML ドキュメント

7. ご使用のブラウザが起動して保存データが表示されます。

メーカー: マツダ

システム	状態
PCM(エンジン)	1 / 3 : P0107:00 吸気圧センサNo.2系統:低入力
	2 / 3 : P0118:00 冷却水温センサ系統:高入力
	3 / 3 : P0472:00 排気圧センサNo.1系統:低入力
TCM(トランスミッション)	OK
ABS/DSC	1 / 3 : C0023:62 ストップ・ライト・スイッチ系統
	2 / 3 : C0089:64 TCS/DSC OFFスイッチ系統
	3 / 3 : U3003:1C 電源系統

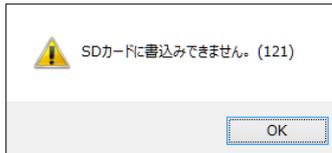
## 12. トラブルシューティング

(windows10 の場合)

アップデートが正常にできない場合は、セキュリティソフトやパソコンの設定で外部メモリへの書き込みが禁止されている場合があります。事前に設定などを確認した上で以下の手順を行ってください。

### Q.1 書き込みができない

[アップデートチェック]ボタンを押しても「書き込み出来ません」「再試行してください」とメッセージが表示されてアップデートが行えない。



### A.1 「UPDATE.exe」(アプリケーション)を最新のバージョンに行ってください。

アプリケーションを最新にすることにより、アップデートを行える場合があります。

1. 以下のリンク先にアクセスしてください。

<http://www.scantool.jp/downloads/upgrade/UPDATE.exe>

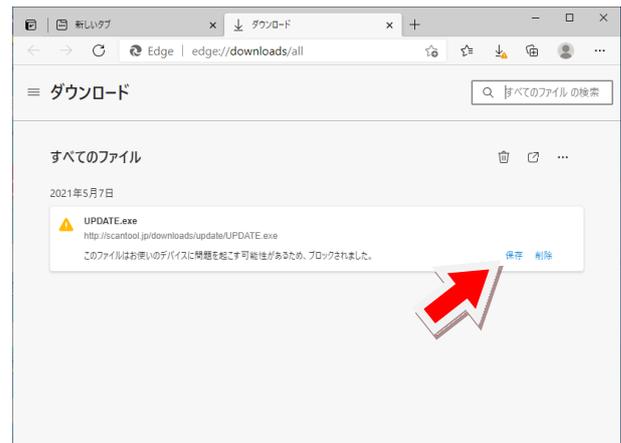
2. メッセージが画面上部に表示されますので、「…」をクリックします。(例：Microsoft Edge の場合)



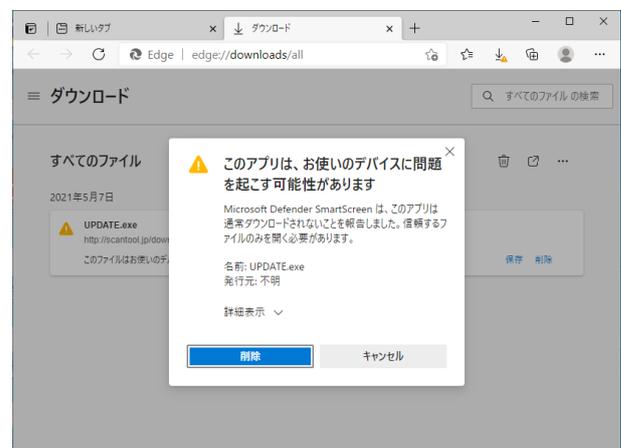
3. 「[ダウンロード]ページを開く」をクリックします。



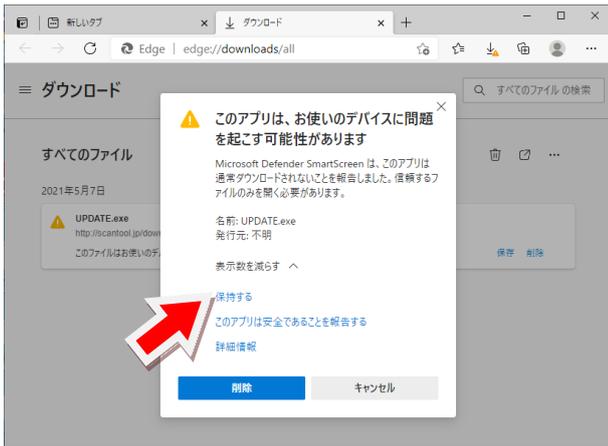
4. ダウンロードの「すべてのファイル」内にダウンロードがブロックされている「UPDATE.exe」が確認できます。右端の「保存」をクリックします。



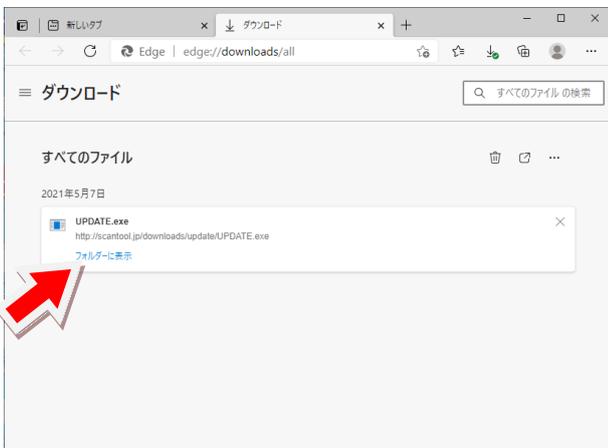
5. ポップアップでエラー画面が表示されます。「詳細表示」をクリックします。



**6.** 「保持する」をクリックします。



**7.** ダウンロードが完了しました。「フォルダーに表示」をクリックします。

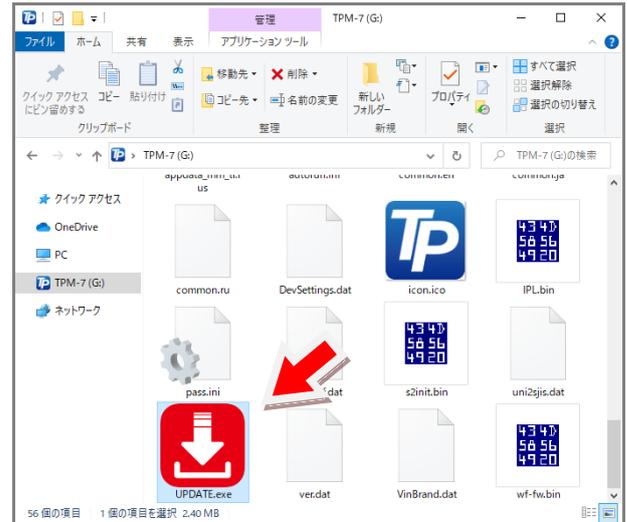


**8.** ダウンロードフォルダにファイルが確認できます。



**9.** ダウンロードしたファイル (UPDATE.exe) を右クリックしてコピーします。

**10.** 「TPM-7」のフォルダを開いて、フォルダ内を右クリックして貼付けを選択します。



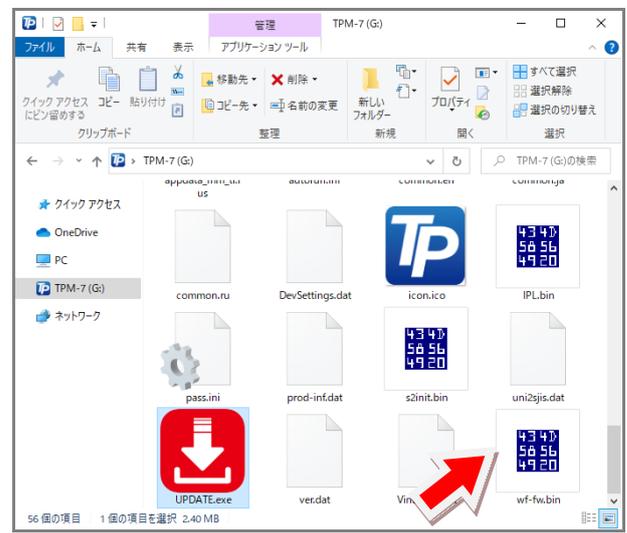
**11.** 同じ名前のファイルがある場合は次のメッセージが表示されますので[ファイルを置き換える]をクリックします。



※次のダイアログが表示された場合は「はい」をクリックしてください。



**12.** 保存が完了したらクイックスタートガイドを参考にアップデートを行ってください。



## A.2 フォーマットしてアップデートを行ってください。

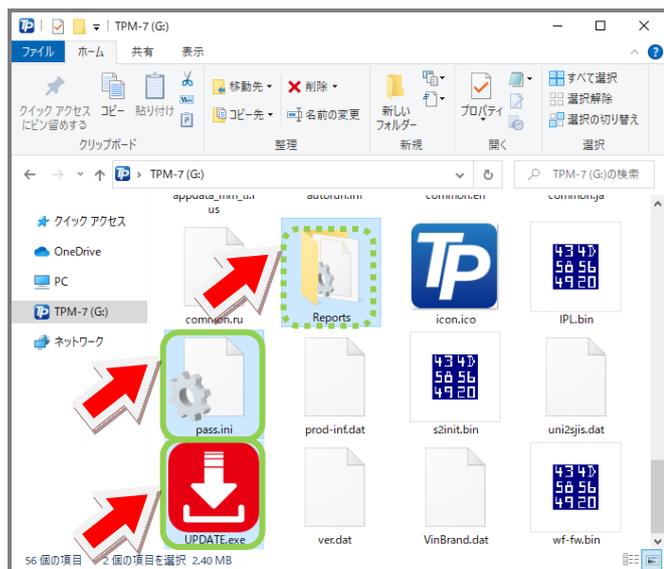
アプリケーションを最新にしても書込みが出来ない時は、フォーマットすることにより正常に書込みができる場合があります。

1. この作業は先に必要なファイルをパソコンにバックアップ（保存）した後に行います。
2. TPM-7 を付属の USB ケーブルを使用してパソコンに接続します。  
フォルダを開いてファイルを表示または手動で「TPM-7」のドライブを開きます。  
TPM-7 の内容が表示されます。

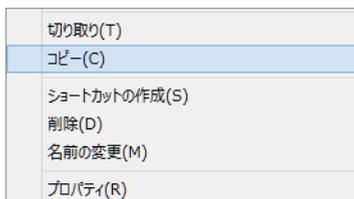
画像を参考に以下のファイルをコピーします。

- UPDATE (UPDATE.exe) (アプリケーション)
- pass (pass.ini) (構成設定ファイル)
- Reports (フォルダ)

※「Reports」フォルダは、故障コードやデータ表示などで[保存]を実行した場合にファイルが保存されているフォルダです。保存していなければコピーする必要はありません。



3. 対象ファイルを右クリックして「コピー」をクリックします。



4. コピー先（デスクトップなど任意の場所に）で右クリックして「貼り付け」をクリックします。



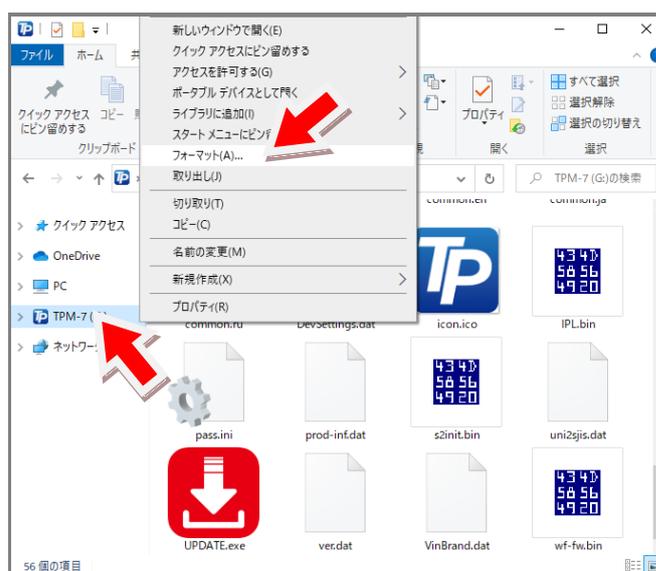
※ドラッグ&ドロップで任意の場所に移動しても問題ありません。

5. パソコンへ必要なファイルのバックアップ（保存）が完了しました。



6. バックアップが完了したらフォーマットを開始します。  
「TPM-7」のドライブを右クリックして「フォーマット」をクリックします。

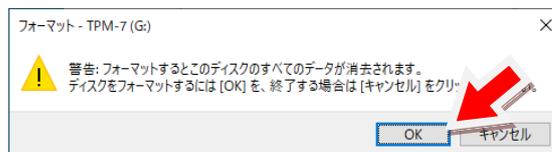
**フォーマットするドライブにご注意ください。**



7. フォーマットの画面が表示されますので、[開始]をクリックします。



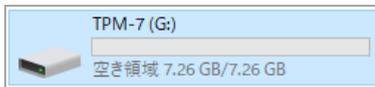
8. フォーマットの確認メッセージが表示されます。確認して[OK]ボタンをクリックします。



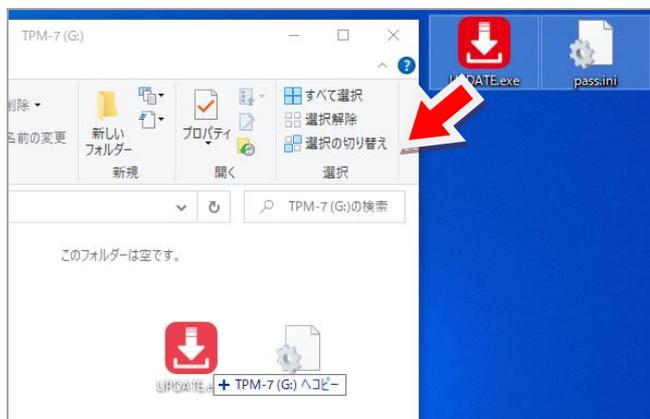
9. フォーマット完了のメッセージが表示されます。  
[OK]ボタンをクリックします。



10. フォーマットが完了すると、通常のリムーバブルディスクのアイコンに変わります。

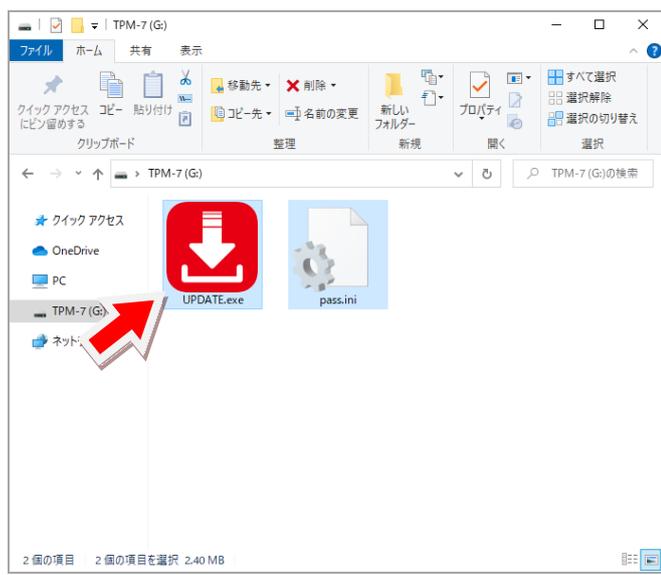


11. 先程バックアップ（保存）したファイルを右クリックして「切り取り」または「コピー」します。  
フォーマットが完了した「TPM-7」ドライブに右クリックして貼付けます。  
または、ドラッグ&ドロップでコピーします。



12. 貼付けが完了後「UPDATE (UPDATE.exe)」をダブルクリックして起動します。

起動後クイックスタートガイドを参考にアップデートを行ってください。



## Q.2 サーバーからの応答がない

「サーバーからの応答がありません。」とメッセージが表示されてアップデートが行えない。

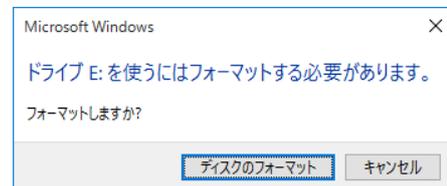
### A.1 パソコンの設定やセキュリティソフトを確認してください。

パソコンの設定やセキュリティソフトの設定を確認してください。  
設定はパソコンの管理者またはセキュリティソフトのメーカーへお問合せください。

また、インターネットが正常に接続されているか確認してください。

## Q.3 「フォーマットする必要があります」とメッセージが表示される。

パソコンに接続しても以下のメッセージが表示され、TPM-7のドライブが表示されない。

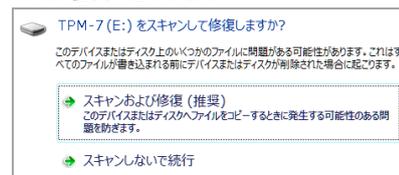


### A.1 販売店へご連絡ください。

ご使用の本体シリアル番号をご確認の上ご購入された販売店へご連絡ください。

## Q.4 「スキャンして修復しますか？」とメッセージが表示される。

パソコンに接続すると「スキャンして修復しますか？」のメッセージが表示される。



### A.1 修復をすると問題が解決される場合があります。

修復することにより問題が解決する場合がありますので、「スキャンおよび修復」を実行されることを推奨します。

## 13. 保証について

### 保証期間：ユーザー登録から1年間

※ダウンロード期間及び保証期間はメインメニューの「本体 ID」から確認できます。

- ・TPM-7 はお客様がインターネットを使用してユーザー登録した日を開始日として 1 年間保証されます。但し、保証期間はインターネットを使用して正しくユーザー登録されている場合のみ有効です。
- ・保証対象は本体のみです。ケーブルなどの付属品は保証対象外となります。
- ・期間終了後 1 ヶ月以内にダウンロード期間延長申込をされた場合に限り、本体保証も 1 年間延長されません。
- ・保証期間内に正常な使用方法にて故障した場合は無償修理いたします。
- ・火災、天災による故障の場合は保証適応外となります。
- ・乱用、改造、分解あるいは意図された用途以外の目的に使用された場合は保証適応外となります。
- ・原則的に本製品は現品修理となります。
- ・お買い上げになりました TPM-7 本体およびケーブルやアダプタなどを修理のために送付しなければならぬ場合の往復運賃はお客様のご負担となります。

### お問合せ先について

製品の取り扱いに関するお問い合わせ並びに診断不可車両がございましたら自動車検査証など車両情報が分かるものをご用意の上、お買い上げの販売店までご連絡ください。

なお、故障コードに対する修理方法等は返答致しかねます。車の整備書をご覧頂く様予めご了承願います。

### 製造元：株式会社ツールプラネット

〒500-8122 岐阜県岐阜市旭見ヶ池町 43-2